

学校点描

インフルエンザが猛威をふるっています。修学旅行を目前にした2年生にうつらないことを祈るばかりです。

《S 中学校》

NO.10 H30. 10.31

合唱祭に向けて、父母と教師の会の合唱練習のために、数回夜集まっていたき、パートにわかれて大人の合唱練習を行いました。U会長の指揮にしたがって『あすという日が』を歌います。メロディーが自然と天から舞い降りてきたと作曲者のメッセージが楽譜の上に書いてありました。なるほど、歌っていて気持ちが盛り上がる歌です。練習が終わった後、あるお父さんから、「先生、この作曲者知ってるがや？」と尋ねられました。「” 八木澤 教司” という人は知らないなあ。」と答えます。すると、「T G高校の校歌も作ったんだど」と教えてくれました。練習の成果もあり、本番の合唱は上手にできたと思います。各クラスの合唱はきっと多くの人を感動させたことと思います。その中でもたったひとつの最優秀賞は、3年C組が獲りました。自由曲を発表した瞬間、3Cから歓声が沸き上がりました。

合唱祭が終わると、3年生はいよいよ受験に向けての準備が始まります。24日の午後は、校長と荒木学年主任が公立高校入試説明会に参加しました。私立高校の入試説明会は、3学年の担任団で手分けして参加しています。11月6日（火）には3年生の保護者向けに進路説明会を夜行います。

大和尚のように

職員室前の廊下に、総合文化部の生徒たちが作った作品が飾られました。そのひとつに、2年生A・Aさんのイラスト作品があります。いつか話そうと思ってタイミングを計っていたら、展示して1週間ほど経ったある日、ちょうど、職員室に用事があって入室してきたA・Aさんに会いました。そこで、あの作品をどのように作ったのかいろいろ聞いてみます。「あれはフリーソ



フトを使って作ったんです。マウスやタッチペンで書いていますが、細かいところは、やはり鉛筆で描いたものをPCに取り込んでいるんです。」

すごい才能だなあと思って、ちょっぴり私の弟について紹介しました。私の弟はテレビアニメや映画の監督をしています。弟は、中学生からマンガ家になることが夢でした。周囲の者たちは、当然マンガ家なんて、夢物語と思っていたんです。両親も反対していましたね。漫画で食べていけるのかって。でも、弟は高校卒業後、東京のアニメ専門学校に飛び込み、今は一人前のアニメ作品（名探偵コナン、黒子のバスケ、テニスの王子さま等）の監督です。いつだったか、弟に仕事の事聞

いた時、次の事を話してくれました。「誰も見ていなくても、一生懸命取り組むのは当たり前。でも

最初のうちはもうどうしたらよいかわからなくなる、締め切りにも追われ逃げたくなる。でも逃げない。そのうち、考えに考えてなんか頭の中に何かぼんやりとしてきたとき、誰かの一言で、アイデアが生まれるんだ。」

そんな話をA・Aさんにしたら、「がんばります！」とうれしそうに、職員室をあとにしました。

禅宗の言葉に“卒琢同時（そったくどうじ）”というのがあります。修行を重ねて今まさに悟りを開こうとしている僧に、大和尚（だいおしょう）が絶妙のタイミングで、言葉かある行為かわかりませんが何かを働きかけて悟りを助けてやることだそうです。転じて殻の中に閉じこもって、いま外界に出ようとしている雛に、親鳥がまさにその時を逃さず外からつついて出るのを助けてやるという意味だそうです。なんでもかんでも思いついたままに言っただけではダメなみたいです。何かに集中している時、逃げたくても逃げずにがんばっているとき、親は大和尚のように、いらぬ言葉はかけずタイミングを見計らうことが大切なのです。

合唱コンクールはとても感動的でしたね。1年生の合唱のレベルが高かったのには驚きました。また、指揮者の中には、その指揮する姿の迫力と美しさに目を見張る生徒が幾人かいました。才能だなあって思います。伴奏者も全員が、最後まで、伴奏を通し切りました。観衆の前で、あの緊張の場面でやりきったことが才能だなあと思います。

だから、最後の結果発表の役割を与えられたとき「なんの得点にもならない指揮や伴奏でも、みんなが知らないところで一生懸命練習していたことを知り、感動しました。」と言ってしまいました。

その後の合唱祭の閉祭式準備の間は、舞台袖にいました。実行委員の中でも、最優秀賞を獲った3Cの生徒は喜んでいるし、それ以外の生徒は、無念そうにうつむく姿が舞台袖にもありました。

そんな、傍らで、3BのH・Rさんが、なんどもなんども、閉式のあいさつのことばを口ずさんで練習しています。何かことばをかけようかなあと思いましたが、ただ黙っていました。「リラックスして」と言うのではなく、見守ることで応援しようと思いました。

そして、出番。スイッチが入ったのか、顔をあげ堂々と胸を張って、H・Rさんは舞台中央に歩んでいきました。

（文責 教頭）

きりとりせん

ご意見・ご感想をお願いします。